

拠出金名：みなみまぐろ保存委員会拠出金

分担金・義務的拠出金の有無		有(農林水産省)		無	
当該機関等に対する分担金を含めた平成20年度の拠出総額				36,096千円(注1)	
国際機関等名	みなみまぐろ保存委員会 (英文名称・略称) Commission for the Conservation of Southern Bluefin Tuna (CCSBT)				
種別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他	
所管官庁担当局課名	農林水産省水産庁資源管理部国際課				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単位	邦貨 (千円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千豪ドル)	レート	ODA率(%)
平成20年度	0		0	1A\$ = 103円	0
平成19年度	0		0	1A\$ = 87円	0
平成18年度	19,453		232	1A\$ = 84円	100
当該拠出金の目的・用途等	標識放流によるミナミマグロの生物学的情報の収集				
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2006年のもの)				国際機関等の財政 (2008年度決算)	
	国名	金額 (千豪ドル)	拠出率(注2) (%)	当該年度の収入 1,768千豪ドル	
1位	日本	232	40.0	当該年度の支出 1,616千豪ドル	
2位	オーストラリア	182	31.0	次年度への繰越 152千豪ドル	
3位	韓国	62	11.0	会計検査機関名	
4位	台湾	62	11.0	Australian National Audit Office	
5位	ニュージーランド	43	7.0		
当該機関等に対する我が国としての評価 (当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
CCSBTはミナミマグロの保存管理及び最適利用を目的として設置された国際機関である。最近、当該水域においては資源の悪化が懸念されており、効果的な管理措置の導入が不可欠となっていることからCCSBTの果たすべき役割は重要となりつつあると評価。					
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価					
CCSBTでは拘束力を有する保存管理措置を導入しており、我が国としても、科学的根拠に基づく措置を支持する立場にある。このため、我が国を含む加盟国等が拠出金を提供し、科学調査を実施することにより、機能強化が図られている。					
邦人職員数 うち幹部以上	1 うち 1人	当該機関全体の職員数 及び邦人職員が占める率		5人 20%	
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称		職員氏名		備考	
事務局次長		鈴木信一		農林水産省出向者	
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
引き続き、事務局幹部ポストを確保する予定。					

(注1) 平成20年度における本拠出金はないが、農林水産省予算による分担金がある。

(注2) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年となっている。